

# 情報連絡員総括表（2024年2月）

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移  
※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 60名：回収率 100.0%）

○2024年2月のDI値は、前月との比較において、「取引条件」「設備操業度」の2指標が改善。その他7指標が悪化した。特に「売上高」は18.5ポイント悪化し、DI値はマイナス15.0となった。また、政府に対して支援施策を望む声が製造業、非製造業それぞれからあがった。賃上げに対する支援策について、製造業から「中小零細企業の賃金補填事業の拡充を強く思う」。燃料価格の激変緩和措置について、非製造業から「高止まりしている市況価格の下落につながる追加施策での延長が切望される」と、賃上げ・燃料価格高騰という全国的な課題について支援策が望まれている。

○「製造業」では、前月との比較において「売上高」「取引条件」「資金繰り」「設備操業度」の4指標が改善し、その他5指標が悪化した。特に「雇用人員」は13.1ポイント悪化し、織物業からは「受注は安定して入っているが、生産能力が弱体化しており、受注残を消化している状態」と受注に対応できない体制についてコメントがあった。

○「非製造業」では、前月との比較において「在庫数量」「雇用人員」の2指標が改善し、その他6指標が悪化した。特に「売上高」は38.8ポイント悪化し、DI値はマイナス16.6となった。DI値全体が10月以降乱高下を繰り返しており、セメント卸売業からは「公共工事関連の需要がピークアウトした結果、出荷量は2か月振りに前年同月比マイナスとなった」。宿泊業からは「気候も比較的暖かく安定し、それに伴って桜の開花状況の発信が宿泊予約を促進した」とコメントがあり、非製造業の中でも業種による景況のばらつきが見られた。

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2024年2月	-15.0	-13.6	30.0	-3.3	-25.0	-11.6	-6.7	-13.4	-28.3
2024年1月	3.5	-17.0	44.6	-5.4	-9.0	-10.7	-17.2	-7.2	-21.4
増減	-18.5 ↓	3.4 ↓	-14.6 ↓	2.1 ↑	-16.0 ↓	-0.9 ↓	10.5 ↑	-6.2 ↓	-6.9 ↓

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体	
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		
売上高	2024年2月	-13.3	0.5 ポイント	↑	-16.6	-38.8 ポイント	↓	-15.0	-18.5 ポイント	↓	
	2024年1月	-13.8			22.2			3.5			
在庫数量	2024年2月	-6.6	7.2 ポイント	↓	-28.6	-3.6 ポイント	↑	-13.6	3.4 ポイント	↓	
	2024年1月	-13.8			-25.0			-17.0			
販売価格	2024年2月	30.0	-1.0 ポイント	↓	30.0	-29.3 ポイント	↓	30.0	-14.6 ポイント	↓	
	2024年1月	31.0			59.3			44.6			
取引条件	2024年2月	0.0	10.4 ポイント	↑	-6.6	-6.6 ポイント	↓	-3.3	2.1 ポイント	↑	
	2024年1月	-10.4			0.0			-5.4			
収益状況	2024年2月	-26.6	-5.9 ポイント	↓	-23.3	-27.0 ポイント	↓	-25.0	-16.0 ポイント	↓	
	2024年1月	-20.7			3.7			-9.0			
資金繰り	2024年2月	-13.3	7.4 ポイント	↑	-10.0	-10.0 ポイント	↓	-11.6	-0.9 ポイント	↓	
	2024年1月	-20.7			0.0			-10.7			
設備操業度	2024年2月	-6.7	10.5 ポイント	↑					-6.7	10.5 ポイント	↑
	2024年1月	-17.2							-17.2		
雇用人員	2024年2月	-20.0	-13.1 ポイント	↓	-6.7	0.7 ポイント	↑	-13.4	-6.2 ポイント	↓	
	2024年1月	-6.9			-7.4			-7.2			
業界の景況	2024年2月	-26.7	-6.0 ポイント	↓	-30.0	-7.8 ポイント	↓	-28.3	-6.9 ポイント	↓	
	2024年1月	-20.7			-22.2			-21.4			

## 今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況			
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化		
製造業	食料品	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	2	1	0	
	繊維工業	2	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	
	木材・木製品	1	2	1	2	0	0	0	1	1	2	0	1	1	2	0	1	0	2	
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	
	印刷	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	窯業・土石製品	1	1	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	
	鉄鋼・金属工業	1	3	0	2	0	0	0	0	0	3	0	2	1	2	0	1	0	3	
	一般機器	0	3	0	1	0	1	0	0	0	3	0	1	0	2	0	0	0	1	
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
	輸送用機器	3	2	2	1	2	0	1	0	1	2	1	1	3	0	1	1	2	2	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
非製造業	卸売業	0	3	0	0	2	0	0	1	0	2	0	1	X						
	小売業	1	3	0	2	3	1	0	1	0	4	0	2							
	商店街	1	3	0	2	2	2	0	1	1	2	1	3							
	サービス業	4	0	X				2	0	1	1	3	1					2	0	1
	建設業	0	4					1	0	0	0	0	3					0	1	
運輸業	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1			

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	・水産加工会社の原魚確保難による加工残さ(魚アラ)減少に伴い、肥飼料価格が上昇し黒字を出せている。しかし業界全体で原料調達が難しく、当然仕入価格も上昇しているので楽観は出来ない。
パン	・パン製造業は売上確保のため季節ごとの商品を製造しているが、この時期定番のさくらあんパンを2月中旬から4月下旬ごろまで製造する。小麦粉やあんの原材料も国産を使いPRすることにより消費者の購買意欲を促している。
織物業	・本年春までの受注は今のところ安定して入ってきている。生産能力が弱体化している中、受注残を消化している状態。この状態は去年から変わっていない。設備投資を含め人的投資もできない中この状態が続く。
製材・木製品製造業	・木材価格は下がっているのにもかかわらず、他の建築資材や住宅機器等の価格高止まりで、住宅建築の需要が伸びない。
印刷・同関連業	・チラシ折り込み代の値上げ、ヤマトゆうメール便問題、郵便料金の値上げはますます紙離れの速度を速める。
骨材・石工品等	・前年同期を上回り、収益が好転している社があるが、厳しい状況は続いている。在庫は増加している。
金属製品	・原料・燃料費高騰が継続している。地元一部上場企業の業績悪化の影響が一部ででている。
生産用機械器具	・価格転嫁交渉がなかなか進まない。設備投資を考えていても先行き不透明な為になかなか決断が付かない。また、補助金の効果が少なくなってきた。
電気機械器具	・白物家電の業界統計では、1月の出荷金額は3ヶ月ぶりのマイナス。消費マインドは改善しているが白物家電への支出は低調。 ・大型冷蔵庫は生産は前年並みになりつつあるが低調が続いており組合員は人員調整を継続している。 ・家庭用エアコンは回復基調にありプラスになっているが先行き不透明。 ・業務用エアコンは北米・欧州の需要減少による輸出の大幅減少が続いており生産のマイナスが続いている。
輸送用機械器具	・中小製造業にも賃金上昇機運の圧力がかかって来てはいる。大企業メーカー等の剰余金があるところは労組の満額回答等々のニュースもこれ見よがしに報道されているが、元々製造業の中小零細企業は利益率が低く、高度な製品開発が出来なくても黙々と真摯なモノづくりに貢献してきた。そのような企業に対して、政府は融資施策で一応の対策をしているが、物価上昇に伴う賃上げ要求を求められても利益剰余の無い企業は賃上げは非常に難しい。賃上げできるくらいならば既にやっているという経営者の声をよく聞く、中小零細企業の賃金補填事業の拡充を強く思う。 ・トヨタ車体、ダイハツの生産調整による出荷停止の影響が大きく、前年より売上が大きく減少。

## 非製造業

セメント卸売業	・公共工事関連の需要がピークアウトした結果、出荷量は2ヶ月振りに前年同月比マイナスとなった。
鮮魚小売業	・売上高は前年よりやや上回った。来客数も増加したが、長引く物価高の影響で消費者の節約志向が強まる中で、客単価は落ち込んだ。また、原材料費やエネルギー関連費、人件費の負担増が収益改善の足かせとなった。
各種商品小売業	・5年後位をめどに商店街振興組合を解散し新たな枠組みを検討している
	・開業から28年近くが経過し、施設・設備等の経年劣化が進んでおり、数年前から修繕費がかなり負担になってきている。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比105.8%と増加した。個人のお客様を中心だが、グループも動いている。3月春休み以降は、近隣観光地のイベント開催もあり、予約の問い合わせが増えている。
	・気候も比較的暖かく安定し、それに伴って桜の開花状況の発信が宿泊予約を促進した。特に、インパウンドの増加が目立った。
総合工事業	・土木工事は年度末の為、人手不足で忙しい状況。建築工事は新築が減少しているが、リフォーム需要が旺盛。板金・アスファルト製品等の資材が2割以上値上げしている。
	・鉄骨業界では大分仕事量が減っている。また、来期に入る仕事を製作しているため、例年2.3月の売上は伸びない。4月から運送業、建設業で働き方改革が始まってくるため、これからの動向が不安。
電気工事業	・引き続き、ケーブルなど資材の納期の遅延が話題になっている。
職別工事業	・一時的ではあるが、年度替わりで閑散としている模様。人手は余り気味だが、契約状況は概ね変化なく、春先に向けては着工物件も出てくる様子。
道路貨物運送業	・燃料については、政府から元売り各社に支給される補助金により、現在は21.6円、全油種の市況価格高騰が抑制されている。支給期限は4月末までであり、5月以降の政府の対応が注視され、夏まで現行制度を延長するとの情報もあるが、高止まりしている市況価格の下落につながる追加施策での延長が切望される。
	・人材不足、2024年4月からの労働時間制限の影響で操業度(稼働率)が低下している。時間を守ることを優先すると、帰り荷が取れず運送効率が低下する。
道路旅客運送業	・1月の運送収入は昨年9月の運賃改定の効果もあって、昨年より9.9%増加したものの、輸送人員は1.3%減少となっている。また、午前中に比べ午後から夜間の稼働状況が悪く、コロナの影響により飲食店数が減少したことや、ビジネス需要も戻りきっていないことが影響しているようである。もともと例年1～2月は閑散期のため、年度末に向けた旅客需要の回復が期待される。

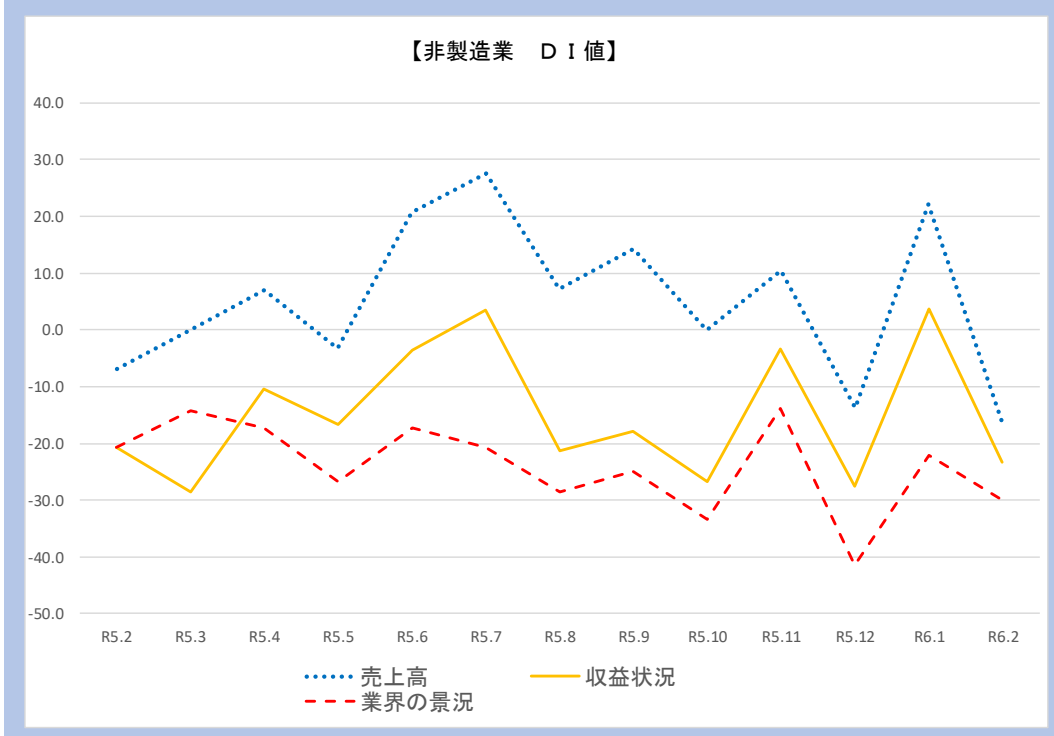
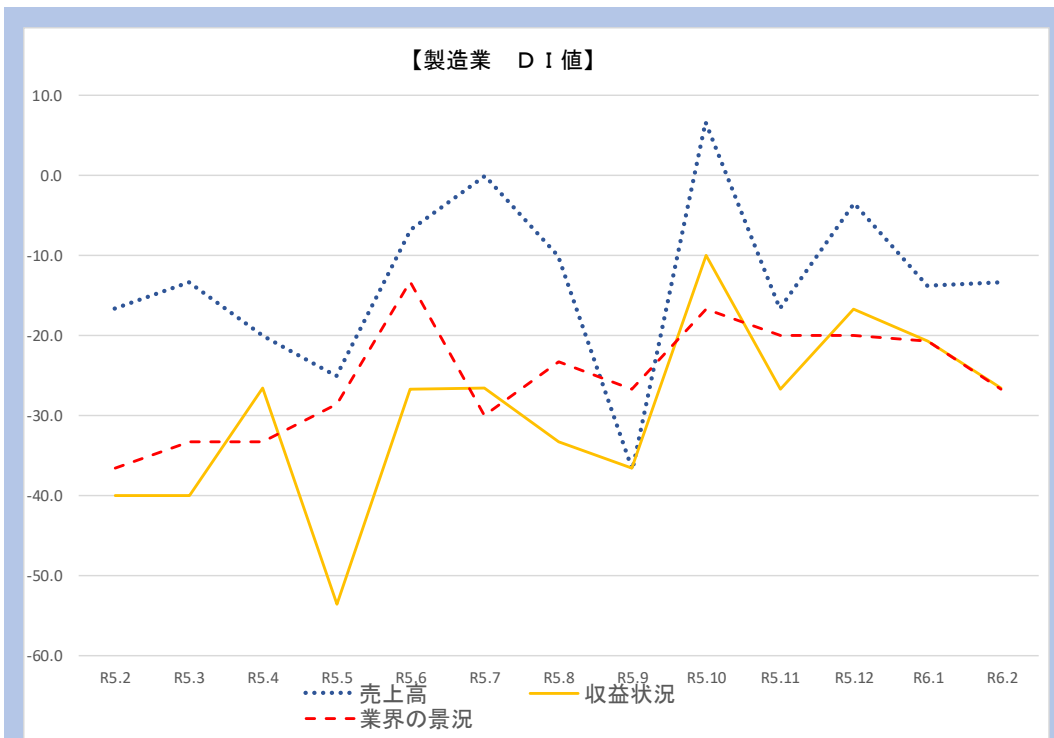
## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■2023年2月期～2024年2月期までの推移

全体	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2
売上高	-11.9	-6.9	-6.8	-13.8	6.8	13.6	-1.7	-12.1	3.3	-3.4	-8.5	3.5	-15.0
収益状況	-30.5	-34.5	-18.7	-34.5	-15.2	-11.9	-27.6	-27.6	-18.3	-15.3	-22.1	-9.0	-25.0
業界の景況	-28.8	-24.1	-25.4	-27.6	-15.2	-25.4	-25.9	-25.8	-25.0	-16.9	-30.5	-21.4	-28.3

製造業	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2
売上高	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3
収益状況	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6
業界の景況	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7

非製造業	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2
売上高	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6
収益状況	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3
業界の景況	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0



■2023年2月期～2024年2月期までの推移

売上高	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2
製造業	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3
非製造業	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6

収益状況	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2
製造業	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6
非製造業	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3

業界の景況	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2
製造業	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7
非製造業	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0

